

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

Corteva AgriscienceTM は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M) SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。この SDS は、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。この SDS は、日本の法規制及び JIS Z 7253 に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ラリーTM水和剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺菌剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2A

皮膚感作性 : 区分 1

生殖毒性 : 区分 2

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) (経口) : 区分 2 (肝臓)

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 3

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露（経口）による臓器の障害のおそれ（肝臓）。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き :

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 粉じんを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
マイクロブタニル	88671-89-0	10	8-(3)-968
非晶質沈降シリカ	112926-00-8	11	-
二酸化チタン	13463-67-7	3.5	1-558, 5-5225 2-(3)-509
ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム	1322-93-6	1.6	4-473
石英	14808-60-7	1.4	1-548

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で15~20分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 眼に入った場合 : 眼を開いたまま15~20分間でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5分洗眼してからはずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
作業場内に適切な緊急用洗眼設備を設置すること。
- 飲み込んだ場合 : 中毒情報センターに連絡するか直ちに医師の診察を受ける。可能なら一杯の水を少しずつ飲ませる。医師の指示がない限り吐かせない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 応急措置をする者の保護 : 応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。
ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。
- 医師に対する特別な注意事項 : 特別な解毒剤はない。
ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。
中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受け

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

に行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。
燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない：
炭素酸化物
窒素酸化物 (NO_x)
- 特有の消火方法 : 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 粉じんの発生を避ける。
粉じんを吸い込まないよう留意。
保護具を使用する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 環境に対する注意事項 : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目
12 の環境影響情報を参照。

封じ込め及び浄化の方法及び
機材 : 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の
放出および処分については、地方または国の規制が適用され
る場合がある。
粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。
回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質 が更
に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔
から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器
に移し、廃棄する。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。
蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
皮膚や衣服に付けない。
飲み込まない。
眼との接触を避ける。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注
意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴
露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : 強酸
強塩基類
強酸化剤

保管

安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためま
っすぐ立てておく。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 強酸化剤

安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
 1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
ミクロブタニル	88671-89-0	TWA	5 mg/m ³	Corteva OEL
二酸化チタン	13463-67-7	OEL-M	0.3 mg/m ³ (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (吸入性粉じん)	1 mg/m ³ (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	4 mg/m ³ (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (吸入性粉塵)	1.5 mg/m ³ (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉塵)	2 mg/m ³ (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M	0.3 mg/m ³ (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
石英	14808-60-7	OEL-C (吸入性粉塵)	0.03 mg/m ³ (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質、「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。			
		TWA (呼吸濃度)	0.025 mg/m ³ (シリカ)	ACGIH

設備対策

- : 空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具

- : 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。特定の作業や物質の空气中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

手の保護具

備考 : 長時間または何度も繰り返し接触する可能性がある場合は、この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例: ポリ塩化ビニル(PVC またはビニル)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR)。注意: 特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある: 取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件(切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具 : ケミカルゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具 : 清潔で、長袖の、全身を覆う衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 粉末

色 : 類白色

臭い : 軽度

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

凝固点 : 適用なし

沸点/ 沸騰範囲 : 適用なし

可燃性(固体、気体) : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : 適用なし
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : 140.15 g/m³
値

引火点 : 方法: 密閉式引火点試験
適用なし。

pH : 5.6
含有量: 5 %

蒸発速度 : 適用なし

自然発火点 : 適用なし

粘度

動粘度(動粘性率) : データなし

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

溶解度
水溶性 : 分散する

蒸気圧 : 適用なし

密度及び／又は相対密度
密度 : データなし

相対ガス密度 : 適用なし

爆発特性 : 非該当

粒子特性
粒子サイズ : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性危険としては分類されない。

化学的安定性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
通常の状態では安定。

危険有害反応可能性 : 推奨保管条件下では安定。

避けるべき条件 : 知見なし。

混触危険物質 : 強酸
強塩基類
強酸化剤

危険有害な分解生成物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。
分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
炭素酸化物
窒素酸化物 (NO_x)
塩化水素ガス

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
LD50 (マウス): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

成分:**マイクロブタニル:**

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット、オス): 1,600 mg/kg
LD50 (ラット、メス): 2,290 mg/kg
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット、, オスおよびメス): > 5.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 5,000 mg/kg
LD50 (ラット、オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

非晶質沈降シリカ:

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 2.08 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 到達可能な最高濃度
- 急性毒性 (経皮) : LD50: > 2,000 mg/kg
方法: 推定値
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

二酸化チタン:

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 10,000 mg/kg
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット、オス): > 6.82 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): 10,000 mg/kg

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 600 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 1.5 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: 急性毒性推定値

皮膚腐食性/刺激性

成分:

マイクロブタニル:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激なし

非晶質沈降シリカ:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激なし

二酸化チタン:

結果 : 皮膚刺激なし

石英:

結果 : 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

成分:

マイクロブタニル:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激

二酸化チタン:

結果 : 眼への刺激なし

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

結果 : 眼への刺激

石英:

結果 : 眼への刺激なし

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

呼吸器感作性又は皮膚感作性

成分:

マイクロブタニル:

種 : モルモット
結果 : 皮膚に触れると感作を起すことがある。

二酸化チタン:

種 : マウス
結果 : 皮膚感作性なし

種 : モルモット
結果 : 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性

成分:

マイクロブタニル:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

非晶質沈降シリカ:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。

二酸化チタン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

石英:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

発がん性

製品:

発がん性 - アセスメント : 発ガン性分類は現状データからは不可能である。

成分:

マイクロブタニル:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

非晶質沈降シリカ:

発がん性 - アセスメント : 動物試験やヒトの経験から、かなり高純度のアモルファスシリカへの暴露による、ヒトの発がん性の顕著なリスクはないとされている。

二酸化チタン:

発がん性 - アセスメント : 2件の生涯にわたる吸入試験で、二酸化チタンに暴露させたラットに肺線維症および肺腫瘍が認められた。このような影響は、きわめて厳しい試験条件に起因する、通常の呼吸器浄化機能の過負荷によるものと考えられる。職場で二酸化チタンに暴露した作業者には、慢性呼吸器疾患および肺がんの発生率の異常は認められなかった。実験動物での生涯にわたる混餌投与試験では、二酸化チタンは発がん性を示さなかった。

石英:

発がん性 - アセスメント : ヒトで発がん性を示した。実験動物で発がん性が認められた。人間の発癌性物質。

生殖毒性**成分:****マイクロブタニル:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、親動物に対して重大な毒性を示した用量においてのみ、生殖に対する有害影響が認められた。人に対する生殖毒性が疑われる物質。
実験動物において、母体毒性を示さない用量で胎児毒性が認められた。動物試験で催奇形性はなかった。

非晶質沈降シリカ:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

石英:

生殖毒性 - アセスメント : 類似物質について、動物試験で催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

成分:**マイクロブタニル:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

非晶質沈降シリカ:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（単回ばく露）としては区分に該当しない。

二酸化チタン:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

石英:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）**成分:****マイクロブタニル:**

暴露の主経路 : 経口
標的臓器 : 肝臓
アセスメント : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

石英:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（単回ばく露）としては区分に該当しない。

反復投与毒性**成分:****マイクロブタニル:**

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：
肝臓。
精巣。
副腎。
腎臓。
甲状腺。

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

非晶質沈降シリカ:

備考 : 珪藻土や非結晶シリカは有害粉塵と考えられるが、結晶性シリカにより起こる肺損傷は起さない。しかし、繰り返し過度の非結晶シリカ粉塵(この製品の主成分)への暴露は、一過性の肺への影響を起こすかもしれない。
この物質の粉塵に反復暴露しても、全身毒性または永続的な肺障害を起こすとはないであろう。ただし、過剰暴露により激しくはないが呼吸器官影響を起こすことがある。

二酸化チタン:

備考 : 粉塵に繰り返し過剰に吸入暴露すると、呼吸器官に影響があることがある。
動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：
肺。

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

備考 : 関連のあるデータは得られていない。

石英:

備考 : ヒトでは、以下の臓器に影響することが報告されている：
腎臓。
結晶シリカに反復過剰暴露すると珪肺症や、肺の病気を進行させたり肺が機能しなくなる疾患を起こすことがある。

誤えん有害性**製品:**

物性上、誤えん有害性は低い。

成分:**マイクロブタニル:**

物性上、誤えん有害性は低い。

非晶質沈降シリカ:

物性上、誤えん有害性は低い。

二酸化チタン:

物性上、誤えん有害性は低い。

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

物性上、誤えん有害性は低い。

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

石英:

物性上、誤えん有害性は低い。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

- 魚毒性 : LC50 (コイ (Cyprinus carpio)): 53.8 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 半止水式
GLP: 該当
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 24.9 mg/l
に対する毒性
エンドポイント: 固定化
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式
GLP: 該当
- 藻類/水生生物に対する毒性 : EbC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 27.3 mg/l
エンドポイント: バイオマス
曝露時間: 72 h
GLP: 該当
- 最大無影響濃度 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)):
3.13 mg/l
エンドポイント: バイオマス
曝露時間: 72 h
GLP: 該当

環境毒性アセスメント

- 水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

成分:

ミクロブタニル:

- 魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 2 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 17 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの
- LC50 (塩水アミ (Mysidopsis bahia)): 0.24 mg/l

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

曝露時間: 96 h

EC50 (イースタンオイスター(*Crassostrea virginica*)): 0.72 mg/l

曝露時間: 96 h

試験タイプ: 流水式試験

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (藻 (*Senedesmus* sp.)): 2.655 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 96 h
方法: OECD テストガイドライン 201 あるいは同等のもの

ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 2.5 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害

曝露時間: 72 h

方法: OECD 試験ガイドライン 201

土中生物に対する毒性 : LC50 (ミミズ (*Lumbricus terrestris*)): 250 mg/kg
曝露時間: 14 d

地上生物に対する毒性 : 混餌 LC50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 5,000 mg/kg 餌
曝露時間: 8 d

経口 LD50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): 510 mg/kg 体重

接触 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 100 µg/bee
曝露時間: 48 h

経口 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 100 µg/bee
曝露時間: 48 h

非晶質沈降シリカ:

魚毒性 : LC50 (*Danio rerio* (ゼブラフィッシュ)): 5,000~10,000 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): > 10,000 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 24 h
試験タイプ: 止水式
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 440 mg/l
エンドポイント: バイオマス
曝露時間: 72 h

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

二酸化チタン:

魚毒性 : 備考: 物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない
(試験した種のうち最も感受性の高い種で
LC50/EC50/EL50/LL50: > 100 mg/L)。

NOEC (無影響濃度) 致死 (Leuciscus idus (コイの一種)):
> 1,000 mg/l

曝露時間: 48 h

試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1,000 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

魚毒性 : 備考: 物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない
(試験した種のうち最も感受性の高い種で
LC50/EC50/EL50/LL50: > 100 mg/L)。

LC50 (Oryzias latipes (オレンジレッドカダヤシ)): 275 mg/l

曝露時間: 48 h

石英:

魚毒性 : 備考: 水生生物に対する急性毒性はないと考えられる。

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

残留性・分解性**成分:****マイクロブタニル:**

生分解性 : 結果: 分解性なし
生分解: 22.4 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301D あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 不合格

水中での安定性 : 試験タイプ: 加水分解
分解半減期 (半減期): > 365 d

光分解性 : 速度定数: 1.69E-11 cm³/s
方法: 測定値

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

二酸化チタン:

生分解性 : 備考: 生分解は適用不可。

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

生分解性 : 接種: 活性汚泥
結果: 分解性なし
生分解: 0 %
曝露時間: 14 d
方法: OECD テストガイドライン 302C あるいは同等のもの

石英:

生分解性 : 備考: 生分解は適用不可。

生体蓄積性**成分:****マイクロブタニル:**

生体蓄積性 : 種: Oncorhynchus mykiss (ニジマス)
生物濃縮因子 (BCF) : 8.3

n-オクタノール/水分配係数 :
(log 値)

log Pow: 3.17
方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は低い (BCF: < 100 または Log Pow:
< 3)。

非晶質沈降シリカ:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: n - オクタノール・水分配係数は適用不可。
(log 値)

二酸化チタン:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: n - オクタノール・水分配係数は適用不可。
(log 値)

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

生体蓄積性 : 種: 魚類
生物濃縮因子 (BCF) : < 6

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: 生物濃縮の可能性は低い (BCF: < 100 または Log Pow:
(log 値) < 3)。

石英:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: n - オクタノール・水分配係数は適用不可。
(log 値)

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

土壌中の移動性

成分:**マイクロブタニル:**

環境中の分布 : Koc: 517
備考: 土壌中移動性が小さい(Koc: 500~2,000)。
ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。

二酸化チタン:

環境中の分布 : 備考: データなし

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

石英:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性

成分:**マイクロブタニル:**

オゾン層破壊係数 : 国際規制: (更新日: 06/09/2011 jdm)
備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

非晶質沈降シリカ:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

二酸化チタン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

石英:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

他の有害影響

成分:

マイクロブタニル:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

非晶質沈降シリカ:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

二酸化チタン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

ジイソプロピルナフタリンスルホン酸ナトリウム:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

石英:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用后或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 (Class) : 非該当
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当
容器等級 (Packing group) : 非該当
ラベル (Labels) : 非該当
環境有害性 : 非該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 (Class) : 非該当
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当
容器等級 (Packing group) : 非該当
ラベル (Labels) : 非該当
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 (Class) : 非該当
副次危険性 : 非該当
容器等級 : 非該当
ラベル : 非該当
EmS コード : 非該当
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

非該当

ラリーTM水和剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/03/10
 1.1 2025/05/12 800080003549 初回作成日: 2023/03/10

15. 適用法令

関連法規

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2 (則34条の2 別表2)

化学名	含有量 (%)	備考
非晶質シリカ (シリカゲル、沈降シリカ)	>=10 - <20	2026年4月1日以降
2-(4-クロロフェニル)-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)ヘキサンニトリル	>=10 - <20	2026年4月1日以降
酸化チタン (IV)	>=1 - <10	-
結晶質シリカ	>=1 - <10	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条 (則30 別表2)

化学名	備考
非晶質シリカ (シリカゲル、沈降シリカ)	2026年4月1日以降
2-(4-クロロフェニル)-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)ヘキサンニトリル	2026年4月1日以降
酸化チタン (IV)	-
結晶質シリカ	-

がん原性物質 (労働安全衛生規則第577条の2)

化学名
結晶質シリカ (石英)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第二種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
2-(4-クロロフェニル)-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)ヘキサンニトリル	118	10

農薬取締法

ラリーTM水和剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/03/10
1.1	2025/05/12	800080003549	初回作成日: 2023/03/10

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
Corteva OEL : Corteva Occupational Exposure Limit
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度
ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
Corteva OEL / TWA : 8-hr TWA
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関. LC50 - 50%致死濃度. LD50 -50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連. ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: XF-94058

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA